



# まくべこ

わたしたちのまち

(昭和60年11月1日現在)

人口	21,648	(-11)
男	10,630	(+2)
女	11,018	(-13)
世帯数	6,590	(-7)
一人のうごき(10月中)	—	
転入	75人	転出 103人
出生	23人	死亡 6人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



## 車椅子のロビン・フッド

鋭い眼光で矢を射るのは、長崎利典さん(札幌市東区79・54歳)です。4年前から体力づくりのために、アーチェリーを始めました。

寿アーチェリークラブの仲間と週二回の練習に励んでいます。今では、クラブの最高有段者になりました。「16年前から車椅子の生活ですが、障害者でも気軽にできるスポーツです」と語る長崎さんです。

No.407

60年 **12**

# おわび申し上げます



## 幕別温泉ホテル元支配人の 公金横領事件

幕別町長 林 照男

冬の気配をひしひしと感じるころとなりました。町民の皆さんには、ますますご健勝のことと拝察申し上げます。

さて、すでに新聞、テレビなどでご周知のとおり、今回の国民宿舎幕別温泉ホテルの元支配人による、自動販売機の売上金横領事件で町民の皆さんに大変ご迷惑をおかけしましたことを深くおわび申し上げます。

この事件の内容につきまして、七月二十九日の町議会議員協議会をはじめ、九月九日の第三回定例町議会においてご説明を申し上げ陳謝しているところであります。しかし、町民の皆さんへの事情説明が遅れましたことをおわびし、事件の経過についてご報告いたします。

町が疑惑を察知したのは今年の二月末でした。自動販売機の販売実績が落ち込んでいるため、本人に事情を聞いたところ売上

金の一部を流用していたことを認めました。お金の使途については「自分のために流用したのではなく、温泉宿泊者が食中毒にかかり営業補償として支払った」と説明するだけで、あいまいな点が多く、信ぴょう性に欠けるため再三にわたり事情聴取をしましたが、使途などの核心が明らかにならないまま四カ月が経過しました。その間、本人は十二指腸カイヨウなどで町内の病院に入院、さらに恵庭市内の病院で療養生活に入りました。

町としては、行政処分をして本件の結末を見るには「行政処分は、事実上の根拠に基づかなければならない」とする法の趣旨から、町サイドの調査は限界と考え、七月二十四日監査委員会に調査を依頼しました。七月二十八日、監査委員が療養先の恵庭市に出向き、直接本人から事情を聴きましたが使途、動機について、これまで通りの説明の域を出ず、七月二十九日帯広

警察署へ内報し、警察当局の捜査にゆだねることにしました。

その後、同署の調べにより「食中毒による被害者との示談に支払った」という申し立てが崩れ、十一月八日午後、業務上横領の疑いで逮捕されました。横領金額は、七百四十二万三千七百九十円と判明しました。(横領金は三月二十九日に六百六万七千四百六十円、十一月十八日に百三十五万六千三百三十円が弁済されています)

十一月十日には、釧路地方検察庁帯広支部に身柄を送致されました。

私としては、事件発覚以来、流用したお金の使途を機度となく事情聴取をしたにもかかわらず、なぜそのときに本当のことを話してくれなかったのかと、まことに遺憾でなりません。しかし、横領の事実が明らかになりましたので、十一月十八日、懲戒免職処分とし免職辞令を交付いたしました。

また、私としての責任を明確にするため、十一月十九日の臨時町議会において四カ月間減給十分の一、助役については二カ月間減給十分の一の処分が可決されました。さらに、直属の監督責任者である梅田経済部長を一カ月間減給十分の一の処分を行いました。

職員の不祥事により町政に重大な汚点を残し、町民の皆さんにご迷惑をおかけいたしました。幾重にもおわび申し上げます。

早速、今回の事件の反省に立ち国民宿舎幕別温泉ホテルの管理機能強化のため、副支配人の配置、二人制による集金体制、在庫管理、各種帳簿のチェック機能の充実を図りました。

二度とこのような不祥事を起こさないよう、職員が一丸となって執務に当たり、一日も早く町民の皆さんの信頼を回復するよう努力してまいります。

最後に、たくさんの方々の方々からご批判のありました「もつと早く処分できなかったのか」「四月から懲戒免職処分まで、なぜ給料を支払っていたのか」については、次に掲げた事由によりります。

何とぞご理解をいただき、ご寛容のほどお願い申し上げます。

願いは一つ  
交通事故ゼロ

ちよつと工夫、

年賀はがきで交通安全

毎日、新聞やテレビなどで交通事故のニュースが伝えられます。事故防止が、声高に叫ばれても一向に減らない交通事故。交通戦争なんてもう真つ平です。交通事故は、人間が起こした行為です。必ず減らすことができます。

町も悲惨な交通事故を無くするため全力を挙げて頑張っています。早いもので今年も残すところあと少しとなり、「年賀はがき」を出す時期が近づいてまいりました。ここで町民の皆さんへお願いです。

今年の年賀はがきをちよつと工夫してもらい、はがきの中に交通安全の呼びかけの言葉を一言入れて、一人ひとりの交通安全意識を盛り上げていただきたいのです。

今、あらためて家庭から、職場から交通事故防止の運動に力を入れていきます。十二月一日から十日までの十日間、スリップなどの交通事故や飲酒運転の絶滅を重点として「冬の交通安全運動」を展開します。

もう、突然の死によって悲しむ人たちをつくらないために、心をつなげて交通事故を無くしましょう。

# なぜもっと早く

## 処分できなかつたのか

事件の発覚した本年二月末から今日に至っている経過についてですが、町独自の事情聴取や監査委員の特別監査にも、本人は公金の横領、つまり自己のために公金を着服したのではなく、国民宿舍幕別温泉ホテルでの食中毒発生に伴う被害者との示談に支消したという、いわゆる公金流用の申し立てをして、その事実を認めた陳述書を提出していません。

この事件が公金横領か公金流用かによって処分内容も異なります。従って、処分の裁量を決定する事実が明らかにされない時点で、本人および関係者の行政処分を行うということは、「処分は事実上の根拠に基づかなければならない」とする法の趣旨に反し、その処分の内容によっては不利益処分のおそれも生じかねません。

このような事から、本人に対する処分も警察による事件の解明を待って、厳正に行わざるを得ないと判断していません。

十一月八日、この事件を調査していた帯広警察署が本人を「業務上横領」の疑いで逮捕して、本格的捜査を行い、十一月十日に釧路地検帯広支部に送検し、今なお、取調べ中です。

以上の事実を踏まえて、本人に再度事情聴取をしましたところ、本人から今まで申し立ててきた内容（食中毒の示談に流用したこと）は虚偽であり、自己のために横領したことを認め、その金額は七百四十二万三千七百九十円であることが確認されたので、これを文書として提出させました。

町の捜査として、この時点で横領の事実が確認されましたので、十

一月十八日、地方公務員法第二十九條第一項第三号の規定および職員懲戒の手續及び効果に関する條例第二條の規定により、懲戒免職処分として、直接本人に免職辞令を交付しました。

※地方公務員法第二十九條 職員

## 四月から懲戒免職処分までなぜ給料を払っていたのか

本人は四月五日、慢性肺炎、肝炎により、その後カイヨウ性大腸炎により六月二十八日まで町内の病院に入院しました。さらに六月二十九日からは、十二指腸カイヨウ、過敏性大腸炎により恵庭市内の病院へ再入院しました。十月六日に退院帰町し、引続き音更町内の病院に、同症状および自律神経失調症により二カ月間の休業加療を要する旨の診断書により通院中でありました。

このことから、地方公務員法第二十八條第二項第一号の規定の心身の故障のため長期の休養を要する場合に該当し、七月四日付けをもって、分限処分としての休職発令をしました。以後、根拠法令である地方公務員法第二十四條の規定を受けて、本町給与条例の定めるところにより、給料、扶養手当の八〇%を支給してきました。その額は、本年四月から懲戒免職処分をした十一月十八日までの分、

が左の各号の一に該当する場合にはおいては、これに対し懲戒処分として戒告、減給、停職又は免職の処分をすることができるとある。

- 一、二省略
- 三 全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合

給与を全額支給停止にするには、懲戒処分としての免職か停職しかありません。停職の場合は最高でも六カ月です。処分の裁量を決定するには、事実上の根拠に基づかなければならないという法の趣旨から、事実が明確にならないければ処分を行うことができません。

一つの事件について、職員を懲戒処分にする場合、例えば最初の一月を停職にして、事件が解明された時点で懲戒免職にするという場合は、刑事訴訟法上の一時不再理の原則が働き、一度懲戒処分をもって問責された職員の違法行為は、これを再度懲戒処分をもって問責することは許されないうことになっていきます。

従って、懲戒免職をした十一月十八日まで支払った給与は、不当に支出していたものではありません。

## 改善策について

自動販売機の売上代金の集金は、二人体制で実施することに義務付けられていました。それにもかかわらず、事務職員が一般事務に多忙であるとの理由で、支配人が独りで集金を実施していたことが、この事件発生の大きな要因の一つです。売上確認書についても、毎日集金、収入のため作成の必要がないとの判断で廃止したため、集金額の確認行為が実施できない状況となっていました。

また、自動販売機の缶ジュースなどの出納についても、物品出納簿などが不備であったことなども事件の発覚を遅らせた一因とも考えられます。

このように本件はチェック体制の欠除が最大の原因とも考えられるため、内部的な取扱いの再検討を実施しました。事件発覚後は係長の二人制の実施、さらに十月より副支配人設置による管理機能の充実強化と集金二人体制の確立、諸帳簿の整備、在庫管理の徹底と合わせてチェック機能の強化など改善に努めています。

今回のような不祥事の再発を防止するため、職員一同心をひきしめて、一日も早い信頼回復に努力をいたします。

# り返って

師走の街は慌ただしさを迎え、昭和60年も残すところあと少し。皆さんにとって、この1年はどんな年でしたか。私たちの町にも、いろいろなことがありました。この1年を写真でつづってみました。

育成、家常武雄さん(旭町)に勲七等瑞宝章(5・1) ●新スポーツ、グラウンドゴルフ第1回全町春季大会(6・2) ●閉校した駒島中学校の記念碑除幕式(6・9) ●町の新名所、明野ヶ丘公園で第1回芝桜まつり(6・9) ●町民に芸術鑑賞の機会をと町民芸術劇場が設立(6・18)



第1回明野ヶ丘公園芝桜まつりでのビール早飲み競争

団体連絡協議会主催で30時間マラソンソフトボール大会(9・15.16) ●人馬一体の妙技、第四回**ばんぼ**競技大会(9・16) ●名誉町民で元幕別町長だった中島国男さんが死去、札内福祉センターでしめやかに町葬(9・24) ●50人の町民が参加して、明野ヶ丘公園に芝桜を植栽(9・28)

## 夏

7~9月



1,000人分のジャンボカレーも登場したサマーカーニバル



ユニークな催しに歓声が上がった第3回冬まつり

## 冬

1~3月

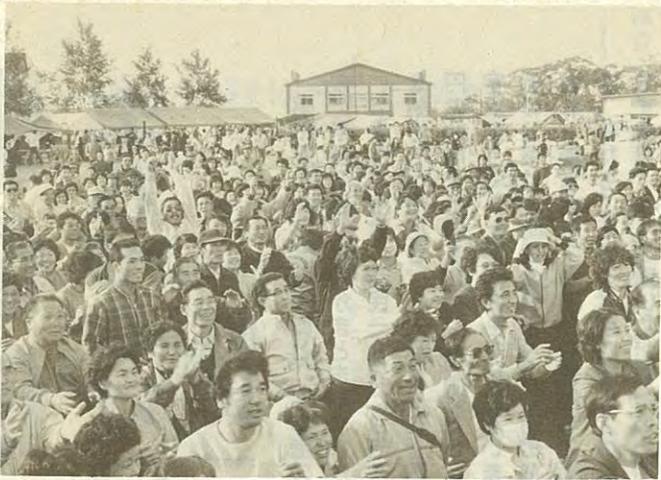
●リフトのついた明野スキー場でスキー学校開校(1・13) ●新川の棚牧場で牛の3つ子誕生(2・5) ●全道農業者会議で西幕別青年会乳牛プロジェクトチームが知事表彰(2・6) ●ポカポカ陽気の中で笑いとお歓声、第3回冬まつり(2・16.17) ●大爆笑、隠し芸チャリティーショー(2.24) ●「食生活の見直し」をテーマに第4回婦人まつり(3・3) ●町長を囲んで農業後継新婚者の集い(3・5) ●第8回明るい町づくり住民大会(3・10) ●マクウンベツアイヌ文化保存会1周年記念総会(3・10) ●38年間の歴史に幕、駒島中学校閉校式(3・14) ●徒望の町民文芸誌創刊(3・15) ●全道の少年ジャンパーが参加して札内スキー少年団創立10周年記念ジャンプ大会(3・17) ●消防署札内出張所管轄内無火災500日達成(3・20)



四百人の町民が参加した隠し芸チャリティーショー



三十八年間の歴史に幕を閉じた駒島中学校閉校式



産業まつりでの宝くじまき。押すな押すなの大盛況

# 今年を振

、85 まくべつ

## 春

4~6月

●札幌東中学校開校(4・1)●依田に移転した江陵高校で初の入学式(4・10)●大豊の畑から旧陸軍の砲弾が見つかる(4・29)●昭和27年創刊の「広報まくべつ」400号を迎える(5・1)●農業後継者を



新しいスポーツとして注目されたグラウンドゴルフ

## 秋

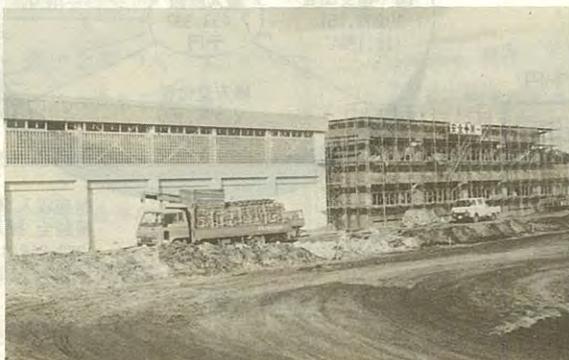
10~12月

●中国から3人の農業実習生が来町(10・3)●秋晴れのもとで第8回産業まつりに1万人の人出(10・6)●65人の町民が参加して町づくり見学会(10・11・12)●故勝山晴代さん(本町)が十勝で初の献眼(10・16)●全国ホルスタイン共進会で石田隆男さん(日新)と西口克功さん(依田)の乳牛がそれぞれ入賞(10・16)●約100人が出席して、千代田区の番

町グリーンパレスで東京幕別会総会(10・27)●地域の拠点、相川南近隣センターが落成(10・31)●文化・スポーツ賞表彰式(11・9)●体育館が完成した札幌東中学校で落成開校記念式典(11・10)●大寺泰助さん(札幌内桜町)に勲七等青色桐葉章(11・13)●駒島小学校落成(予定)(12・20)



身近な施設を見学した町づくり見学会



十二月二十日に完成予定の駒島小学校

●第2札幌橋架橋促進期成会1市4町協議会が設立(7・2)●生の演奏を満喫、札幌中学校体育館で札幌交響楽団のコンサート(7・14)●新しい夏の風物詩、運動公園でサマーカーニバル'85(7・27・28)●一流選手が指導、拓銀野球教室(7・30)●幕別農協本部が落成(8・10)●NHK文化講演会で富永一郎さんと藤原ていさんが講演(8・28)●町消防団が創立80周年(9・1)●町青年



ダイナミックな演奏を披露した札幌コンサート

# 59年度決算の概要

## まちづくりに使ったお金

### 町民一人当たり34万円

昭和五十九年度の決算と、本年度の四月から九月までの上半期の執行状況がまとまりました。

五十九年度は、町民一人当たり五万六千六百七十三円を納めていただき、一人当たり三十四万一千二百四十二円の仕事をいたしました。『財政』といいますが、「難しい数字はどうも」という方も多いと思いますが、この決算などの公表は、町民の皆さんに、町のお金がどのように使われ、運営されているかを理解してもらうことが目的です。私たち二千六百四十八人の家計簿といえるものですので、よくご覧いただきたいと思えます。

幕別町の自主財源は三五・二%で、残りの六四・八%は国や道借入金などに依存しています。ここに地方財政の厳しさが見られます。もう一度、図一を見て下さい。依存財源の中で地方交付税(三四・三%)に次いで国・道支出金が一

## 一般会計

町に入ったお金(歳入)は、前年度より五億九千五百六十四万円の増で、七十四億三千三百三十三万七千円に。仕事に使われたお金(歳出)は、前年度より五億八千六百八十一万二千円の前増で、七十三億六千八百十万円でした。差し引き六千五百二十三万七千円の黒字となり、財政調整基金に三千五百万円(の積み立てをしましたので、実績繰越額は三千二十三万七千円となります。この決算額は、歳入、歳出とも五十八年度を上回りました。

## 歳入

図一の歳入(財源の構成状況)を見てみると、町民の皆さんが納めた町税は、全体の一六・五%となっています。町民一人当たり五万六千六百七十三円の負担で、三十四万一千二百四十二円の支出をしたことになり町税収入の六倍の仕事をしたわけですね。なぜ六倍もの仕事ができるのでしょうか。そのからくりは、地方交付税や補助金などの国や道からのお金や町債という借入金です。これらは「依存財源」といい、町税のように町が自分で集めて自主的に使えるお金を「自主財源」といいます。

## ●各会計別の決算

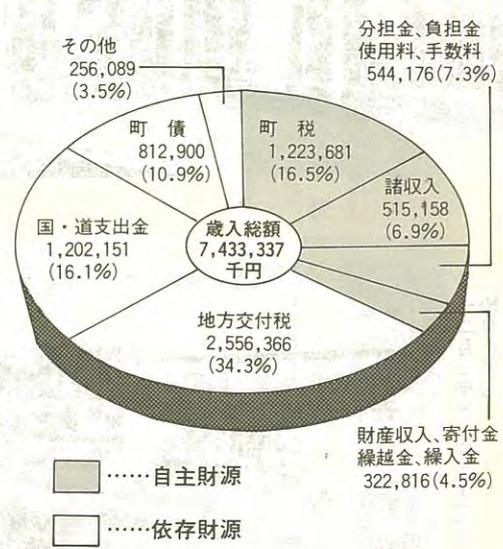
(単位：千円)

一般会計	7,433,337	7,368,100
特別会計	2,979,424	2,888,591
公営企業会計	542,375	512,136

※各会計とも、グラフ上段が歳入、下段は歳出。

## ●図一 歳入(財源の構成状況)

(単位：千円)



六・一%を占めています。これは事業の一部を負担するものですが、国・道の基準が低いため、町の負担が大きくなる場合があります。これを「超過負担」といい、主なものとして表一のようなものがあります。

次いで、町債(二〇・九%)の多いのが目につきます。昭和五十九年度で八億一千二百九十万円の借金をしたわけで、それ以前の借金を合わせると、百十六億八千四百万円あまりの借金があります。(図一二)こんなに借金があつて、町の台所は大丈夫か?と心配される方もあるかもしれません。しかし、道路、学校、公園、上下水道などの建設は、多額の経費が必要です。これらの施設は半永久的なものですから、将来、その恩恵を

## ●表一 超過負担の主なもの (単位：千円)

事業名	負担率	補助対象額	補助基本額	補助金額	超過負担額
農業委員会費	10%	18,577	18,577	11,013	7,564
札内南小学校校舎増築	2%	605,138	588,051	392,034	11,391
保育所運営費	10%	103,893	61,594	49,275	33,839
国民年金事務費	10%	19,679	14,082	14,082	5,597

受ける町民にも建設費の一部を負担してもらつてよいと考えられて

●町民1人当たりの納めたお金●

56,673円

町民税 (個人)	固定資産税	町たばこ 消費税	電気税	その他 (入湯税等)
				
23,008円	20,537円	4,019円	2,551円	6,558円

●町民1人当たりに使ったお金●

341,242円

教育費	土木費	公債費	農林業費	総務費
				
68,884円	61,772円	46,367円	42,465円	42,383円
民生費	消防費	衛生費	商工費	その他 (議会費等)
				
36,933円	13,788円	13,064円	7,485円	8,101円

— 住みよい町づくりに —

- 公営住宅建設事業 — 116,473千円
- 曙(あけぼの)通街路事業 — 65,037千円
- 札内高台線道路改良事業 — 50,331千円
- 明野ヶ丘公園整備事業 — 50,014千円
- 幕別札内線道路改良舗装事業 — 29,660千円

— 豊かな町づくりに —

- 道営土地改良事業負担金 — 296,122千円
- 農村総合整備モデル事業 — 101,598千円
- 新農業構造改善事業 — 44,724千円
- 畜産総合対策事業 — 12,050千円
- 町有林造成事業 — 9,915千円

— 明日への町づくりに —

- 札内東中学校建設事業 — 920,971千円
- 教員住宅(共済)購入事業 — 50,654千円
- 白人小学校ブルー上屋建設事業 — 22,035千円
- スクールバス購入事業 — 15,760千円
- 学校屋外環境整備事業 — 5,295千円

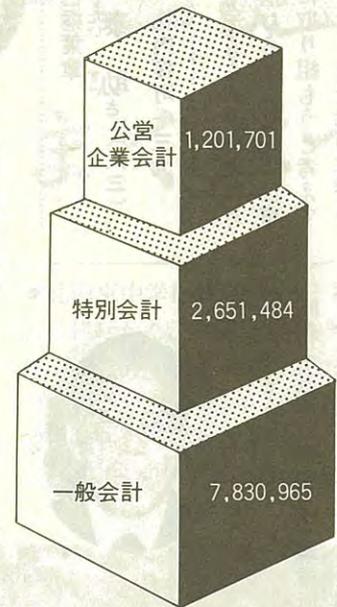
— あたたかい町づくりに —

- 児童手当 — 38,680千円
- 若草近隣センター建設事業 — 34,512千円
- 老人医療費助成 — 22,062千円
- 乳幼児医療費助成 — 18,634千円
- 敬老祝い金 — 11,138千円

歳出

●図-2 借入金の現在高

(単位：千円)



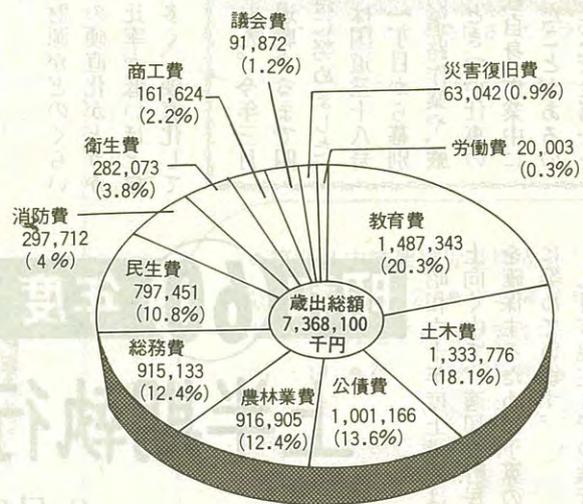
総額は116億8,415万円

図-2の歳出をご覧下さい。目的別に使用道を見ると、教育費が二〇・三%でトップ、続いて土木費が、一八・一%、以下公債費一三・六%、農林業費、総務費二・四%、民生費一〇・八%、となっております。

借金の返済に充てるお金を「公債費」といいますが、歳出の一三・六%、十億百十六万六千円を返済に充てたように、毎年計画的に返済をしています。性質別に分けますと、消費的経費(人件費、物件費、補助費など)

●図-3 歳出(目的別決算内訳)

(単位：千円)



が六三・九%を占め、投資的経費(普通建設事業)が三六・一%とな

っています。行政水準の向上や経済的な影響からも、支出総額に占

める投資的経費の割合が高いほど望ましいのです。五十九年度に、町民の生活向上を図るために行われた主な事業は、次のとおりです。

# 基金は

## 町の貯金です

基金は、皆さんの家庭の貯金と同じです。特定の目的のためにお金を積み立て「学校を建てる」「土地を取得する」「町の台所が苦しい」ときなどに使われます。

### ◆財政調整基金

町財政の長期にわたる健全な運営と、年度間の財源変動に備えて積み立てられ、町の台所が苦しくなると使われます。

### ◆教育施設建設基金

学校を建築する場合に使われます。

### ◆土地開発基金

公共の利益のために取得する必要がある土地を、購入するために使われます。

### ◆減債基金

町の借金を償還するために充てられます。

### ◆奨学資金積立基金

基金から生ずる収益を、奨学資金に充てられます。

### ◆国民健康保険基金

保険給付に要する費用が不足を

## ●基金の現在高

(単位：千円)

総額は11億6,609万3千円	
基金名	現在高
財政調整基金	680,000
教育施設建設基金	91,000
土地開発基金	137,000
減債基金	72,000
奨学資金積立基金	10,244
国民健康保険基金	165,857
その他の	9,992

生じた場合に充てられます。

## 決算から見た

### 財政の健康診断

財政の健康状態を計る物差しに、「財政力指数」と「経常収支比率」、「公債費率」の三つがあります。この物差しで、幕別町の財政を見てみましょう。

#### ◇財政力指数

自治体の自主性の尺度で、指数が高いほど自まかないできるお金が多いことを意味します。本町の場合は三一・四％で、管内三番目に高い指数です。

#### ◇経常収支比率

自由に使える財源がどのくらいあるかで、財政の硬直化がどうかを判断します。比率が低いほど自由になるお金が多く、硬直化して

いないことを表します。

本町は七八・八％で管内六番目に位置しています。

#### ◇公債費比率

借金の返済に充てられるお金で、比率が高くなると財政運用が苦しくなり、借金で首が回らない状態になります。

本町は一八・五％で管内では低い方から九番目です。

## 秋の叙勲 道路維持に四十年

勲七等青色桐葉章

大寺 泰 助さん(六三)

札幌市東区 札内桜町一三九

「こんな立派なものをいただけるとは信じられません。仕事にまじめに取り組もうと考えてきただけです」と受章の喜びを



語る大寺さん。

昭和十五年に帯広土木現業所に入り、二十六年に新設された開発

建設部に移りました。今年二月に総理府技官で退職するまで四十年間、道路維持に努めました。主に担当したのは国道三十八号線の帯広市大通一丁目から幕別間です。炎天下の道路作業や、厳冬の除雪作業などきつい仕事の連続でした。「私自身、作業中に交通事故に遭ったことがあるので、若い人たちには安全第一を心掛けるよう指導してきました」と語っていました。

## 昭和60年度 予算 上半期執行状況

9月30日現在

昭和六十年上半期は、景気の上向く中で、適切な町民サービスを確保するため、予算の完全執行に努めています。九月末現在までの執行状況を見ると歳入では四三・四％(昭和五十九年度同期三九・二％)、歳出では、三八・一％(昭和五十九年度同

科 目	予算現額	支出済額	執行率%
土木費	1,366,751	539,801	39.5
農林業費	1,262,796	162,997	12.9
教育費	1,221,114	397,233	32.5
公債費	1,091,724	523,297	47.9
民生費	873,011	426,959	48.9
議会・総務費	866,010	458,796	53.0
衛生費	477,835	153,033	32.0
消防費	306,153	154,159	50.4
商工費	150,311	96,012	63.9
労働費	17,999	13,606	75.6
その他	50,977	695	1.4
合 計	7,684,681	2,926,588	38.1

科 目	予算現額	支出済額	執行率%
地方交付税	2,698,671	2,014,483	74.6
町 税	1,279,048	633,846	49.6
国庫支出金	549,477	123,950	22.6
町 債	689,400	—	—
諸 収 入	543,806	261,460	48.1
分担金・負担金	417,263	26,757	6.4
道 支 出 金	686,990	39,371	5.7
譲与税・交付金	250,600	56,701	22.6
使用料・手数料	171,614	77,224	45.0
そ の 他	397,812	100,606	25.3
合 計	7,684,681	3,334,398	43.4

## 一般会計

(単位：千円)

期三七・二％)と、いずれも昨年度を上回る執行率となっています。なお、来年三月三十一日までは百分執行の見込みです。

# 文化賞に高橋さん

## 六十年年度文化・スポーツ賞

町教育委員会では、本年度の文化・スポーツ賞を決め、十一月九日に町民会館で表彰式を行いました。受賞者は、文化賞一人、文化奨励賞一団体、少年文化奨励賞十人、スポーツ奨励賞二団体と四人、ジュニアスポーツ奨励賞が十一団体と七人です。



高橋 節夫さん

文化賞の高橋節夫さん(五十一歳・緑町)は、昭和三十年に幕別民謡

### 酒井かおりさん (18歳)

▼幕別農協▲

今年はいいいことばかり



今年の春に高校を卒業して、ここに勤務していただきます。信用部で定期預金を担当しているのですが、失敗ばかりしています。早く結婚したいと思っているんですが、相手がいないので……。

今年の私の重大ニュースは、ここに就職できたことと、10月に車を買ったことです。いいことばかりでした。来年も良い年であってほしいですね。

## こんにちは ⑨

▽長井和(同)▽宮本直子(同)  
【スポーツ奨励賞】

▽幕別町商工会青年部野球部  
▽札内農協野球部  
▽佐藤早苗(札内桂町・陸上)▽石川かおり(札内泉町・陸上)▽広瀬なおみ(千住・陸上)▽坂口恵美子(相川・卓球)



11月9日に町民会館で行われた表彰式

【ジュニアスポーツ奨励賞】

▽札内中学校男子低学年駅伝チーム  
▽同男子八百メートルリレーチーム  
▽札内東中学校陸上部男子駅伝チーム  
▽同男子低学年四百メートルリレーチーム  
▽幕別中学校男子卓球部  
▽同女子卓球部  
▽幕別町卓球スポーツ少年団小学生女子チーム  
▽札内北小学校エンブレチーム(バレーボール)▽幕別スイングスクール男子Bグループ  
▽札内南小学校三年四百メートルリレーチーム  
▽刈谷浩二(札内中)▽中村靖紀(同)▽香田裕一(札内東中)▽三好貴裕(札内南小)▽竹村寿美子(幕別小)▽樋口英二(札内東中)▽中村貴光(遠別小)

### 地場産品を使った



### 長いもようかん

【材料】 5人分  
長いも…1キログラム 寒天…1袋半 砂糖…200グラム 水あめ…200グラム オレンジジュース…200cc バナナエッセンス…少々 塩…少々 さくらんぼ…5個

### 【作り方】

- ①長いもは皮をむいて、五センチぐらいの厚さに輪切りにして、中まで完全に柔らかくなるまで蒸します。
- ②①を熱いうちにつぶすか、ミキサーにかけて、裏ごしします。
- ③寒天を九百CCの水に五分間ぐらい浸してから、寒天が完全に溶けるまで煮ます。
- ④寒天が完全に溶けたら、砂糖二百グラムと塩を少量加えます。
- ⑤②と水あめを④に入れ、よくかき混ぜて、弱火でじっくりと煮ます。
- ⑥⑤にオレンジジュースとバナナエッセンスを入れて、型に入れて冷蔵庫で冷やします。
- ⑦⑥が固まったら型からぬいて、さくらんぼを添えて、出来あがりです。



出品者  
小笠原玉子さん  
(大豊259・57歳)

長いもを作付けする農家が  
増えたので、長いもを使って  
何か変わった料理をと思って

考えました。寒天が完全に溶けないうちに砂糖を入れますと、寒天が固まってしまうので注意してください。寒天を溶かすときに、水の量を減らして、牛乳を加えてもいい味になります。家族の者にも好評です。ぜひ一度、試してみてください。



### 体育館が完成し記念式典

体育館が完成し全施設の整備が終わった札内東中学校の落成開校記念式典が11月10日、新体育館で開かれました。式典では、生徒代表が「新しい伝統づくりに頑張ります」と決意を述べ、全校生徒と父母たち関係者が完成を喜び合いました。



札内若草町で理容店を営む佐藤健さん(四四歳)宅では、自宅の一室を「将棋道場」として子供たちに開放しています。現在十二人の子供たちが、毎週水曜日の午後六時から午後八時ごろまで、指導を受けたり、対局を楽しんだりしています。

### 自宅を将棋道場に開放



### 特養札内寮に布地を寄贈



町内のボランティアグループである幕別町青空会(代表田村睦美さん・会員六名)が、十一月八日に特別養護老人ホーム札内寮を訪れ、おしめのあて布などを寄贈しました。昨年に続き二回目で、「今後も続けていきたい」と語っていました。

町内で2人の婦人剣士が剣道初段をとりました。下美恵子さん(南町・39歳)(写真右)と中橋敏子さん(札内青葉町・35歳)(同左)で、2人とも剣道を始めて3年目になります。来年は2段を目指しています。

### 二人の婦人剣士が誕生



## 学ぼうの学校 (9)



まゆみ 塚本真弓さん (6年生)

### 楽しかった 列車遠足

私たちの学校を紹介します。

私たちの学校は、札内市街の東のはずれにあります。校舎は昭和五十七年十一月にできた新しい設備の学校ですが、開校十八年の伝統ある学校です。児童数は三百二十五人で、学級数は特しゅ学級をふくめ、十二学級です。

児童会は、「これの会」といつて、前・後期の二期制です。八つの部があり、それぞれが代表委員会のもとで大活躍しています。

毎年行われる行事は、春、秋二回の全校マラソン大会などいろいろあります。特に今年から行われた秋の列車遠足は、とても楽しい行事の一つでした。全校児童が列車に乗り、厚内浜に



- ◆ 白人小学校
- ◆ 喜多 仁校長
- ◆ 児童数 三二五人

いきました。列車の中では、いろいろ変わる景色に声があげながら、二時間ほどで目的地につきました。

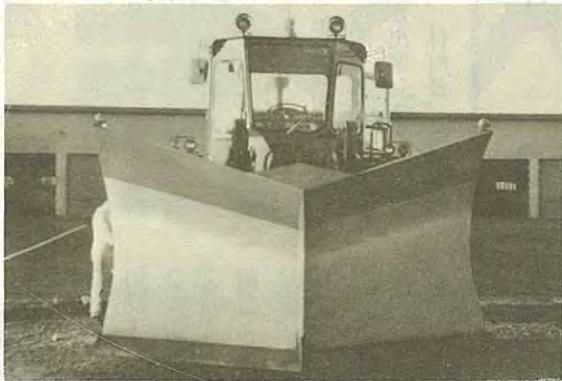
厚内浜では、貝がらや小石をひろったり、波と追いかけて遊ぶしたり、砂山を作ったり、みんな時間のたつのも忘れて、ずぶぬれになりながら楽しい一日をすごしました。



ずぶぬれになりながら楽しんだ厚内浜

これからは、冬に行われるスケート記録会やジャンボカルタ大会などがありますが、その日を楽しみに、勉強や運動がんばっています。

# ★ みんなの声



除雪ドーザー

十勝地方は、道央や道南に比べるところそれほど豪雪地帯ではありませんが、それでも除雪体制が整っていないければ、日常生活に大きな支障が生じます。

ご存知のように、国道や道道は開発建設部や土木現業所が除雪し、町道やそれに準ずる道路を町で除雪します。町で除雪を担当しているのは車両センターです。常時、除雪用車両を十一台保有し、職員が十一人待機していま

## 除雪体制・計画は…

厳しい冬を迎え、そろそろ降雪の時期になりましたが、除雪に対する町の体制はどのようになっているのでしょうか。また、どのような除雪計画

（四十五歳・主婦）

### ■お答えします

### 午前四時から

### 除雪に出動します

除雪用車両十一台の内訳は、ダンプにスノーブラウを装着したのが五台、除雪ドーザー二台、グレーダー二台、ブルドーザー一台、ジープ一台となっています。しかし積雪量が多くなると、これだけでは迅速にすべての町道を除雪することができませんので、町内の民間業者十五社にも除雪の委託をします。委託を受けた業者は主に市街地区の除雪をすることになっています。

の除雪用車両の燃料費、修繕費、消耗品費が一十二三万円となっています。除雪に要する経費を町民一人当たりに換算すると九百六十四円になります。

町の除雪総延長は四百六十二キロメートルです。除雪作業は第一種、第二種、第三種路線の順序で行います。第一種路線は市街地および団地内道路、各公共施設、スクールバス路線です。第二種路線は各公区的主要道路、準公共施設に通じる道路、第三種路線は、第一種、第二種路線以外の町道および未認定道路でも町道に準ずる道路です。午前四時から除雪作業を開始して午前九時ごろには主な道路の除雪は完了します。農村地域では、地吹雪による吹きだまりができることがあります。風が吹いている間は除雪効果がありませんので風が止んでから除雪を行いますのでご了承願います。

夜間に降雪があった場合は、車両センターの職員は午前四時から除雪に出動します。町から委託を受けた業者も車両センターからの要請を受けて、同じく午前四時から出動できる体制をとっています。地域によって差はありますが、だいたい十五センチ二十センチの積雪があった場合に出動します。また、降雪だけでなく、地吹雪などによる吹きだまりの除雪にも出動します。五十九年度の出勤回数は車両センターの場合、降雪による除雪が十一回(二回当たりの作業時間七時間)、地吹雪などによる吹きだまりの除雪が十六回(同五時間)、道路の拡幅などの出勤が十五回(同三時間)でした。合計で四十二回の出勤がありました。

また、駐車禁止、あるいは道路敷地内にある牧柵等の除雪作業中における一切の物損事故については、町では責任をおいかねますので、ご注意、ご協力のほどお願いします。

(建設部車両センター)

## 新町民登場



あさの こうじ  
浅野 幸二さん (41歳)  
札内中央町330

### 幕別温泉からの

### 夜景は最高

今年五月に職場の異動で上川管内美瑛町から来ました。今年軍岡にできたホクレン十勝食品工場に勤めています。生まれも育ちも美瑛町です。十勝岳のふもとで、農業中心のまちです。上川盆地の中にあるので夏は暑く、冬は寒いという気候でしたが、とても住みやすいまちだったのでね。車で二十五分ぐらいのところには白金温泉がありました。幕別町に来たのは初めてです。こちらに住みごころがいいですね。幕別温泉のふろに入りながら見る夜景は最高です。休日にはよくドライブに行きますが、どこへ行くにも便利なところですね。子供が二人いるのですが、冬には途別川に白鳥が飛来してくると聞いているので、今から楽しみにしています。

# 百人が楽しく懇談

## 第二回東京幕別会総会

東京近郊在住の幕別町出身者でつくる、東京幕別会(野本弘会長)の総会と懇親パーティーが、十月二十七日、東京都内の番町グリーンパレスで開かれ、なごやかに交流を深めました。

この会は、今年で二回目になり、首都圏に約二百四十人いる会員のうち百人余りが出席しました。地元からは、林町長、山崎町議

会議長、山崎札内農協組合長、木川商工会長らが出席しました。総会であいさつに立った林町長は、「今年、農作物も大豊作。来年は、開基九十年度の記念事業を計画しています」と明るい町の近況を報告しました。

引き続き懇親パーティーに移り、テーブルには、幕別町産のジャガイモ、トバ(サケ)の加工品が並び、



なごやかに交流を深めた懇親パーティー

## 積極的に社会参加へ

# ひと

9  
 身障者福祉協会  
 幕別分会長  
 橋本 俊光  
 (五位634・63歳)

十二月九日は障害者の日です。また、十二月九日から十五日までは、身体障害者福祉週間です。幕別町にも身体障害者福祉協会十勝支部幕別分会があります。その会長が橋本俊光さんです。

「会長に就任したのは昭和四十二年ですから、今年で十九年目になります。会が発足したのは昭和三十五年五月で、その時は副会長でした。当時の会員は三十名ぐらいだったと記憶しています。

会員相互の親ぶくをはか

出席者はふるさとの味を楽しみながら、なつかしいふるさとの思い

り、福祉増進と自主更生を期することがこの会の目的です。激励会を開催したり、各種身体障害者スポーツ大会へ選手を派遣したりするのが主な事業です」

「現在、会員は約四百四十名います。障害者が増え続けていることが残念でたまりません。もうこれ以上仲間を増やしたくないですね。町民すべての人が、障害者に対する理解を深めてほしいと思いますね。

障害者の人たちも、周りに甘えることなく、積極的に社会参加への努力をすべきだと思います」

大正十一年十一月生まれ。奥さんと息子さん家族の七人暮らし。

出話を交わす人の輪がいくつもでき、幕別に思いをはせていました。

## 人口は二一、二七〇人

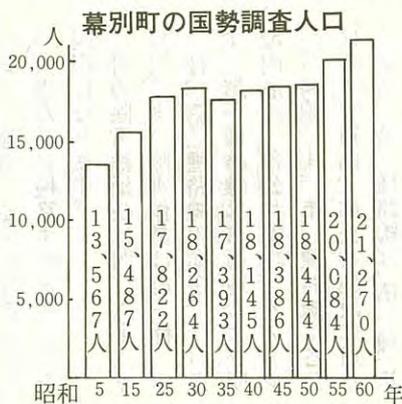
### 国勢調査の結果から

昭和六十年十月一日現在で行なわれた国勢調査の人口と世帯数の概数がまとまりました。

人口は二万一千二百七十七人(男一万四千三十一人、女一万八百三十九人)でした。世帯数は六千三百三十六世帯で、一世帯当たりの世帯員は三・三六人という結果でした。

前回調査(昭和五十五年)と比べて、人口で二千八百八十六人(男五百四十四人、女六百四十二人)、世帯数で四百五十八戸の増加でした。一世帯当たりの世帯員では〇・〇六人の減少になっています。

今回の調査では、就業状態、住居の種類、従業地などの調査項目



もありましたが、国全体としての概数を公表するのは今年の十二月末の予定です。調査結果は、現在わが国が抱えているさまざまな問題を的確にとらえることができ、国や地方公共団体の行政施策の重要な資料になります。

## 「寄付ありがとうございます」

町へ……

▽幕別ライオンズクラブ(大上長治会長) から平和通りへ時計塔

■社会福祉協議会へ……

▽菅原充さん(札内曉町)から三万円  
 ▽高橋磯治さん(途別)から三万円  
 ▽塚本清さん(相川)から二十万円  
 ▽横田国男さん(横浜市)から六百四十円  
 ▽タンポポサークル(代表山根毅子さん)から一万円  
 ▽札内農協から二万円  
 ▽吉井ことさん(札内若草町)から二万円

■老人クラブへ……

▽相川乗友会へ塚本清さん(相川)から二万円、松下信義さん(相川)から二万円  
 ▽林隆雄さん(宝町)から宝町宝寿クラブへ三万円  
 ▽高橋磯治さん(途別)から途別老人クラブへ三万円  
 ▽松下信義さん(相川)から中央老人クラブへ五万円  
 ▽岡田改さん(相川)から相川北一心会へ二万円  
 ▽緑町老人クラブへ後藤盛清さん(緑町)から一万円、深沢昇平さん(緑町)から三万円

(十月十六日～十一月十五日分)